

特定施設使用(変更)届出書

高松市長 殿

○年 ○月 ○日

提出する日付を記入します。

届出者 ○○株式会社 代表取締役○○○○  
 ○○市○○町○○番地○  
 (電話番号 ○○-○○○○番)

瀬戸内海環境保全特別措置法第7条第2項(第8条第4項、第9条)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○株式会社 △△工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	高松市○○町 ○○番地○	※受理日 年 月 日	年 月 日
特定施設の種類	72 し尿処理施設	※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備 有害物質を使用している場合は、「有」にチェックをつけてください。	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量(排水系統別の量を含む。)	別紙4及び別紙5のとおり。		
△排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む。)			
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
- 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 4 ※印の欄には、記載しないこと。
- 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 6 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設番号	1	施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。
特定施設番号及び名称	72 し尿処理施設	
型 式	合併処理施設	
構 造	鉄筋コンクリート造	
主 要 寸 法	縦 17.0 m 横 4.0 m 深 5.0 m	
能 力	処理能力 195 m <sup>3</sup> /日 650人槽	
配 置	別紙のとおり	図面を添付してください。
設 置 年 月 日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	○年 ○月 ○日	年 月 日
そ の 他 参 考 と なる べき 事 項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	1			別紙1の施設番号と対応させてください。
特定施設番号及び名称	72 し尿処理施設			
設置場所	別紙のとおり			
操業の系統	別添フローシートのとおり			
使用時間間隔	連続			
1日当たりの使用時間	24時間			
使用の季節的変動	なし			有害物質使用特定施設において有害物質の製造、処理を行っている場合は、有害物質の種類を記載してください。
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	塩素剤（錠剤）〇kg/月			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常 最大
	水素イオン濃度 (pH)	6.5	8.0	当該特定施設から排出される汚水等の水質と量を記載してください。 当該特定施設において製造、処理等を行っていない有害物質であっても、不純物として含まれており排水に含まれる可能性があるものは記載してください。 必要に応じて、項目を追加・削除してください。
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	180	200	
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	180	200	
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	230	250	
	窒素含有量 (T-N) (mg/L)	140	150	
	りん含有量 (T-P) (mg/L)	18	20	
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	3000以上	3000以上	
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常 最大	有害物質使用特定施設において、使用している有害物質を原材料の欄に記載していない場合は、その他参考となるべき事項の欄に記載してください。
	60	70		
その他参考となるべき事項				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における 施設番号	1 ←			施設ごとに番号を付し、構造図を添付してください。		
処理施設の設置場所	別紙のとおり					
設置年月日	年 月 日			年 月 日		
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日			年 月 日		
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日			年 月 日		
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日			年 月 日		
種類及び型式	○○式					
構造	鉄筋コンクリート造					
主要寸法	17.0 m×4.0 m×5.0 m					
能力	処理能力 195 m <sup>3</sup> /日					
処理の方式	長時間ばっき方式					
処理の系統	別紙フローシートのとおり					
集水及び導水の方法	塩ビ管および コンクリート製汚水枡					
使用時間間隔	連続					
1日当たりの使用時間	24時間					
使用の季節変動	なし					
消耗資材の1日当たりの 用途別使用量	資材名	用途	1日当たりの 使用量	資材名	用途	1日当たりの 使用量
	塩素剤 (錠剤)		○kg/月			

汚水等の処理の方法

健康項目及び該当する有害物質に関する汚染状態及び量を記載してください。

汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	1								
		通常		最大		通常		最大		
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
	水素イオン濃度 (pH)	6.5	6.5	8.0	8.0					
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	180	20	200	25					
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	180	20	200	25					
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	230	30	250	35					
	窒素含有量 (T-N) (mg/L)	140	10	150	15					
	りん含有量 (T-P) (mg/L)	18	5	20	8					
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	3000以上	0	3000以上	0					
	量 (m <sup>3</sup> /日)	60	60	70	70					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	種類	生成量 (月間)		処理方法の概要		種類	生成量 (月間)		処理方法の概要	
	汚泥	〇kg/月		〇〇業者に委託						
排出水の排出方法	排水口の位置	別紙のとおり								
	排水口の数	3								
	排出先	〇〇川								
その他参考となるべき事項	排水口の位置図を添付してください。									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水口ごとに番号を付してください。

排水口から排出される水に関する汚染状態及び量を記載してください。

排水の汚染状態及び量

お		No. 1 排水口					
排水の汚染状態		通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水の汚染状態	種類・項目						
	水素イオン濃度 (pH)	6.5	8.0				
	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	20	25				
	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	20	25				
	浮遊物質 (SS) (mg/L)	30	35				
	窒素含有量 (T-N) (mg/L)	10	15				
	りん含有量 (T-P) (mg/L)	5	8				
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	0	0				
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	60	70					
その他参考となるべき事項	<p>別に雨水専用排水口が2つあり。</p> <p>その他の必要事項について記載してください。</p>						

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

COD

業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Q <sub>0</sub>	Q <sub>i</sub>	Q <sub>j</sub>	通常	最大		
特定排水水	し尿浄化槽	20	25	60	70				1.20	1.40	
		県告示による区分を記載してください。					通常の汚濁負荷量 (通常の汚染状態) × (通常の水量) 最大の汚濁負荷量 (最大の汚染状態) × (最大の水量)				
合計				60	70				1.20	1.40	
特定排水水以外の排水水	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
	通常	最大	通常	最大	通常	最大					
合計											
その他参考となるべき事項											

- 備考
- 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、化学的酸素要求量について記載すること。
  - 2 ※印の欄には記載しないこと。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

T-N

業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)						汚濁負荷量 (kg/日)		※
	通常	最大	通常	最大	Q <sub>0</sub> Q <sub>i</sub> Q <sub>j</sub>			通常	最大		
					Q <sub>0</sub>	Q <sub>i</sub>	Q <sub>j</sub>				
特定排水水	し尿浄化槽	10	15	60	70				0.60	0.70	
	合計			60	70				0.60	0.70	
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

- 備考
- 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、窒素含有量について記載すること。
  - 2 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>no</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 3 ※印の欄には記載しないこと。



排水水の排水系統別の汚染状態及び量

T-P

特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>0</sub>	Q <sub>i</sub>	Q <sub>j</sub>	通常	最大	
	し尿浄化槽	5	8	60	70				0.30	0.35	
	合計			60	70				0.30	0.35	
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

- 備考
- 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、りん含有量について記載すること。
  - 2 りん含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>po</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 3 ※印の欄には記載しないこと。

用 水 及 び 排 水 の 系 統

用水及び排水の系統	<div data-bbox="598 656 1021 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 特定施設から排水口までの排水系統ごとのフロー図を記載してください。             </div> <div data-bbox="443 840 614 875" style="color: red;">別紙のとおり</div>		
用途別用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
	洗浄用水、雑用水	上水道	60～70
	散水	井戸水	2～3

通常の水量～最大の水量を記載してください。

特 定 事 業 場 付 近 の 見 取 図

図面等を添付してください。

## 特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。